

会議録

会議の名称	平成30年度第1回清須市総合教育会議
開催日時	平成31年1月9日(水) 午前11時～11時44分
開催場所	市役所南館3階大会議室
議題	1 開会 2 議題 (1) 中学校生徒海外派遣研修事業について (2) 小学校児童の英語教育について (3) その他 3 閉会
会議資料	会議次第 清須市総合教育会議出席者名簿 清須市総合教育会議 配席図 清須市総合教育会議設置要綱 資料1 中学校生徒海外派遣研修事業について 資料2 小学校児童の英語教育について
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	永田市長、齊藤教育長、教育委員会委員(堤委員、福田委員、後藤委員、高山委員)
欠席委員	なし
事務局	[市長部局] 宮崎企画部長、河口企画部次長兼企画政策課長、服部企画政策課課長補佐 [教育委員会部局] 加藤教育部長、丹羽教育部次長兼学校教育課長、近藤生涯学習課長、石黒スポーツ課長、吉田学校給食センター管理事務所長、大沼学校教育課課長補佐
<p>会議の経過</p> <p><b>1 開会</b></p> <p>(事務局：加藤教育部長)</p> <p>それでは、定刻になりましたので、只今から、平成30年度第1回清須市総合教育会議を開催いたします。開会に当たりまして、永田市長からご挨拶を申し上げます。</p> <p>(永田市長) [市長挨拶]</p> <p>(事務局：加藤教育部長)</p> <p>それでは、次第に沿って進めてまいります。</p> <p>まず、今回説明させていただきます資料の確認をさせていただきます。資料は会議次第、出席者名簿、配席図、設置要綱、資料1及び資料2です。</p> <p>本日の議題は、中学校生徒海外派遣研修事業及び小学校児童の英語教育についてです。</p>	

ここからは、清須市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により、議長は市長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

## 2 議題

(1) 中学校生徒海外派遣研修事業について

(2) 小学校児童の英語教育について

(永田市長)

それでは、総合教育会議の議長を務めさせていただきますのでよろしくお願ひします。さっそく協議に入りたいと思います。議題1の中学校生徒海外派遣研修事業について及び小学校児童の英語教育については関係がございますので、一括で協議をお願ひしたいと思います。事務局より、説明をお願ひします。

(事務局：近藤生涯学習課長)

[資料に沿って説明]

(資料1) 中学校生徒海外派遣研修事業について

(事務局：丹羽教育部次長兼学校教育課長)

[資料に沿って説明]

(資料2) 小学校児童の英語教育について

(永田市長)

只今、事務局より説明がありましたが、委員の方のご意見を伺いたいと思います。順番にお伺ひしますので、ご協力よろしくお願ひいたします。堤委員よろしくお願ひいたします。

(堤委員)

事務局から説明いただいた中で、学校教育課長から説明のあった、保護者の要望や思いとしては、どちらかという学校の英語化に主をおき、学校の先生を充実してほしいなど言っているように私は感じました。

事業をやめるというのは勇気がいることだと思いますけれども、限られた予算の中でどちらかということになりますと、やはり広く子どもたちが英語を勉強する、そのために先生を増やすということのほうが、今は理にかなっているのではないかと思います。

また、小学校のほうからも、意見と要望が出ており、ALT(英語指導助手)の要望もできておりますので、充実した教員の潤していくということがよいのではないかと思います。

(福田委員)

さきほど事務局からの説明、そして堤委員の話でもありましたように、決められた予算の中で、有効利用していただいていると思いますし、命に関わる事業も大事とは思いますが、やはり多くの方が対象となるものに予算の施行をしていただけると、市民の方も喜ばれるのではないかと思います。

さきほど市長の話で、清須市の住民の人数が増えているとありましたが、子育て世代の方たちから、子育て支援の充実をしていただいて、清須市でよかったと聞いております。そういうようなことから、やはり子どもたちの英語教育のほうにも、力をいれていただき、清須市で教育を受けてよかったという声を聞きたいなと思っております。

また、一部の方が海外派遣をして、それが学校の中で過流して、みんなに内容が伝わればよいのですが、今の状況だとそれができていないのではという疑問もございます。

ですから小学校のALTを増加していただき、3・4年のところから英語活動で、学校の英語教育の充実をしていただければと思います。

また、家族や地域への波及効果も出てくるのではと思います。児童が、学校でこんなこ

とをやったなどと話すことで、地域の英語教育の波及効果にもなるのではないかと思いますので、私の意見としては、小学校のALTを増やしていただければなと思っております。

(後藤委員)

事務局の説明、委員の方2名のお話を総合した結果、やはり保護者からの要望や学校からの要望はとても大切なことだと思います。中学校生徒海外派遣研修事業というのは確かに実際に外国に行って体感できるというメリットはあるけれど、それは一部の生徒だけということもあり、また保護者としては、無事に帰ってくるまでがとても不安な気持ちになると思いますし、引率される先生方の精神的な負担というのも大きなものだと思います。

また、やはり今一番大切なことは平成32年度からの小学校での英語教科化に向けて対応できるように、市内すべての子どもたちに平等に公平に英語と出会う機会を作ってあげるといこと、清須市として力を入れるということは大変望ましいことだと思っております。

社会環境も変わってきて英語がなくてはならない言葉となっておりますので、小さいときから少しでもそういう機会を作って上げられるということは、子どもたちを応援する意味でも、すごく意義があることだと思いますので、ALTの増加を確保していただいて、英語教育の充実を図っていただきたいなと思います。

(高山委員)

派遣事業の見直しについては、委員会の意見がすべてだと思うのですが、廃止をした場合、教育現場の先生方の働き方改革にもつながっていくのではないかと思います。

廃止について、資料とはまったく別の視点で考えてみると、現在海外では非常にテロ等多いですし、事件性も非常に多いということで、やはり一昔前の保護者の考え方と今の感覚も違いますし、安全性確保ということが1番に優先されると思います。

海外派遣終わり、その代わりに、英語教育の面で充実をさせていき、取り組むことによって、外国への国際理解や共有ができ、より英語を勉強しようかなと思う子どもたちもいると思います。

そういったことを思うと、清須市の教育の観点ならすれば、皆さんが言われたようにALTを充実させる方面に、今後注目してもらったほうが私もよいかと思います。

(齊藤教育長)

私のほうからはまず、議題に入る前に、校舎の長寿命化、エアコンの設置、そして空き教室がない中で放課後子ども教室の全小学校での設置につきまして、永田市長にお礼を申し上げます。

本題の海外派遣につきましては、私は有効的な面が非常に多くあると思います。

しかし、海外派遣の選考から落ちた子の精神的なことを考えますと、落ちたことを素直に受け入れられない子もいると思います。

また、さきほど高山委員さんが申し上げられましたように、やはり、最近海外情勢が不安定で、どこで何が起こってもおかしくないと思います。

そのような中で、そこに教員だけで行くと責任の所在というものがある問題になります。例えば修学旅行や野外学習では、かならず管理職が引率し何らかの判断をしていますが、海外派遣のように一般教員だけで引率し判断をするというときに、その先生たちの精神的な負担も非常に大変ではないかなと思います。子どもたちの安全を考えて無事に帰ってこなければいけない、それでいて、海外の事情がわからない中で、子どもたちを十分に守りきれるのか、そういう精神的な負担もあると思います。

加えて、先ほどから皆さんが申し上げられたように、一部の生徒たちに還元するよりも、このプロパガンダ社会では、より全体のレベルアップを考えていかなければいけない、と考えます。やはり語学は海外に行くというよりは、小さいときから語学を積み重ねることによって言葉が話せるように近づいていくと思いますし、例えば今度3・4年生が教科の中に入ってきたときにやはり充実していくことが、子どもたちがプロパガンダ社会全体か

ら開放できるということでは、そちらに予算をいただけるのであれば、それは非常に意味のあることではないかと思えます。

そういう意味で、たとえば限られた予算で、どれもこれもやりたいというのは教育者としての欲張りかもしれませんが、もし二者選択をしなければならないのなら、やはりそれはより多くの児童生徒に還元できる方向を、ALTの先生たちが直接誰にでも接することができるようなそういう方向を考えていただけるとありがたいかなと思えます。

(永田市長)

皆さんありがとうございました。教育委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきました。

私個人としては、基本的にはお金がないからこの事業をやめてこちらに予算を回したいという説明はなかなかつき辛いかと思えますし、この中学校派遣事業と小学校の英語教育とは、また別の次元で考えていかなければいけないと思えます。英語教育が大切だから、中学校派遣事業をやめますというのは説明がつき辛いと思えます。

しかし、小学校の英語教育については、清須の子どもたちのためにも、ほかの市町にも負けていられない、しっかりやってかなければならないと思っています。

また、以前教育長に、中学校と違って、小学校では担任が全教科をやらなくてはならないと聞きました。そういった意味でも、ALTの加配というのは必要なことだと思いますので、中学校の派遣事業をやめたお金で英語教育をやるというのではなく、英語教育は英語教育できちんと対応していくものだと思います。

中学校の派遣事業につきましては、いろいろとメリットデメリットがあり、最近ではデメリットのほうが大きいというようなご意見もごございます。

また、学校の先生方が大変だということであれば、教育委員会の職員が行けばいいという話もあるのですけれども、教育委員会も職員で中学校の生徒24人を面倒見切れるのかといったらおそらく面倒見切れないと思えます。知らない子ばかりを引率するというのは、生徒さんも心配ですし、むこうも大変だと思いますので、現実性がないかなと思えます。

そのなかで、平成31年度は海外派遣事業をおこなうことになっていますので、この1年をかけて平成32年度、どうしていくのかということ、先生方のご意見を聞き、参考にしながら、今後決めていきたいと思えます。

今後、また先生方のご意見を頂戴したいと思えますので、よろしくお願いたします。本日はありがとうございました。

それでは、せつかくの機会ですので、そのほかに、何かあればご意見をお伺いしたいと思いますけれども。

(高山委員)

さきほど、齊藤教育長のほうからもエアコンの設置等のお話がありましたが、来年設置に向けて見直しをしていただき、予算もつけていただいて入札も終わったということ、来年度の6月末の完成で、7月から運用していくということ、定例会のなかでお聞きしました。

非常に感謝を申し上げたいとともに、保護者の方々から学校にエアコンについて意見も多かったものですから、設置に向けて取り組んでおられる職員の皆様、ご尽力いただいて市長さんをはじめ、議会議員の方たちのおかげで、エアコンの設置ができるということは非常に嬉しいことだと思います。

また、学校の先生たちもうれしいと思えますし、働き方改革の一部にもなるのではないかなと思えます。ありがとうございました。

(市長)

ほかにごございますか。

(委員より異議なしの声)

(永田市長)  
事務局は何かありますか。

(事務局：加藤教育部長)  
事務局のほうからは特にございません。

(市長)  
はい、では、無いようですので、以上で本日の総合教育会議を終わります。ありがとうございました。それでは、事務局のほうにお返しします。

(事務局：教育部長)  
本日は教育総合会議にご出席くださりありがとうございました。以上を持ちまして、平成30年度第1回清須市総合教育会議を閉じさせていただきます。お疲れ様でした。

会 議 の 結 果	会議の経過のとおり
問 合 せ 先	教育部学校教育課 052-400-2911